

集中豪雨による
水難事故に注意!

気をつけよう!危険な場所 川の安全ルール

中州に車ではいると、水かさが増えたときに、取り残されてしまう恐れがあります。テントを張るのも危険です。



川は自然を身近に学べるすばらしい空間ですが、同時に危険も兼ね備えています。安全のためのルールを正しく理解したうえで、川に出かけてください。

川幅のせまくなっているところは、流れが早くなっているので十分に注意しましょう。



水辺は水かさが増えたとすぐ沈んでしまうので、車の駐車やテントを張るのは危険です。



川で遊ぶときは、必ず親と一緒にいき、子供から目を離さないようにしましょう。



テトラポット周辺は水の流れが複雑で、川底が急に深くなっていることがあるので気をつけましょう。



他にもこんなことに気をつけよう。

- 天気予報をしっかりと見て、雨が降りそうなときは川に近づかないこと。
- 川の水が多いときや、水が濁っているときは、足元が見えにくいので川で遊ばないようにしましょう。
- はだして川の中にはいるのはとても危険なので、古くなったりつななどをはいて川にはいりましょう。
- 体のぐあいが悪いときは、川で遊んでも楽しくないうえに、思わぬ事故につながるので川遊びはひかえましょう。

《川の防災情報》

<http://i.river.go.jp/>

携帯電話で雨量や水位などを見られます。



国土交通省 北陸地方整備局
阿賀野川河川事務所 管理課

〒956-0032 新潟市秋葉区南町14番28号

TEL(0250)22-2211

<http://www.hrr.mlit.go.jp/agano/>

